



Star ☆☆☆

EXPRESS

<http://hoshinosato.info/>

6月の予定

- 5月28日 6月度授業料引落日
(6月8日 引き落とし予備日)
- 5月26日 グランプリ特別練習
(午後4時～6時)
- 5月27日 そろばんグランプリジャ
パン大阪府大会
- 6月2日 暗算検定試験
(通常授業なし)
- 6月23日 A1大会申込締め切り
(実施日7月15日)
- 6月24日 珠算検定・段位検定
(珠算検定・段位検定の特別練習)
- 6月9日・16日・23日
午後5時～午後7時

★6月2日暗算検定について★

- 1・準1・2・準2…8時30分開始
3級～6級 …9時開始

所要時間は約25分です。お迎えのお車は、9時5分・9時35分頃をお願いします。受験生を送ってくる車が完全に終了した後にお迎えにきていただきますようご協力ください。

なお、試験日の都合が悪い場合は、5月31日・6月1日の授業中に実施しますので申し出てください。

試験日の通常授業は休講となりますのでご注意ください。

★6月24日検定について★

- 2・3級…星の郷教室 午前8時

- 1級…北大阪会議所 午前11時20分
段位…枚方市民会館 午前10時

当日は午前7時に教室を開けます。自由に練習してください。1級と段位は会場に直接行ってください。時間に余裕を持って行動してください。会議所までの行き方についての案内は教室にありますので必要な方は申し出てください。1級受験の中学生以上は生徒手帳を持って行ってください。段位の会場と時間が従来とは異なっていますので注意して下さい。

中学生以上の皆さんへ

現在、星の郷教室には中高生が40名在籍しています。限られた時間の中で、クラブ活動・学習塾・日常の勉強にそろばんの練習と、それこそ息つく暇もないほどの忙しさでしょう。

そろばんの練習時間に関していえば、小学校時代に比べると、良くて半減、多くは3分の1程度に減少しています。

でも不思議なことに、総じて力はそれほど落ちてはいません。むしろ、検定の合格率は中学生以降、格段に上がります。

時間が思うようにとれないことから、時間を大切に扱う意識が生まれ、それが高度な集中力を生み出しているのかもしれない。時間には「濃淡」があることを生まれて初めて実感するのも中高生期ではないでしょうか。

集中力を高めたり緩めたりするコツは、小学生時代の豊富な練習によって体得しています。ここぞという時に集中力を一気に高めて効率の良い練習をしているのが中学生以降の生徒たちです。

技術は「集中力」×「時間」、すなわち集中力と時間の積に比例します。ダラダラと長い時間をかけているのはダメです。長時間机に座っている割に成績が伸びないと嘆いているのがこのタイプです。

また、いくら集中しても時間が短すぎるのもこれまたダメです。一端頭に入れたものを熟成させるだけの時間がないと、技能も技術もなかなか自分のものにはなりません。

時間をかけなければ伸びない、でもまとまった時間をとれない、という人たちにうってつけの方法があります。それは、万歩計を着けて歩くように、小刻みに時間を稼ぐ方法です。

ダイエットや健康維持のために一日一万歩を目指して歩こうにも、まとめて一万歩を歩く時間をとれるような人にはたぶん万歩計はあまり必要なく、まとめて時間をとれない人が身に着けて、コツコツと歩数を貯めていくために役立つのが万歩計。

そろばんの練習も同じで、まとめて30分や1時間を練習にさけない場合には、小刻みに練習時間を稼ぐのです。稼ぐコツは「入浴する前の1分」とか「食事前の5分」というように、「〇〇する前の時間」を使うようにすることです。「※※したあとの時間」だとやらない場合が多くなります。

大人になると「※※したあと」に何かしようとしていても「※※したあと」には何をしようとしていたか忘れてしまうことが多くなりますが、これはまた別問題で、2040年頃になると生徒の皆さんの多くが実感するようになるでしょう。

今年7月に、日本珠算連盟主催の全国大会が開催されます。2000年を最後に途絶えていた全国大会ですが、問題内容を変更して全く新しい大会として

生まれ変わります。

その大会に向けて7月に3回、大規模な合同練習会の開催を予定していますが、その際に使用する練習問題を今年の3月中旬から作り始めました。

プリント枚数にして1000枚ほどの分量ですが、規則に従って数字をすべて手でパソコンに入力していくのは気の遠くなるような時間と手間がかかります。

そこで取ったのが前述の「万歩計作戦」でした。朝起きて、顔を洗う前にまず1題。顔を洗って、朝食の前に1題。一口食べて、次の一口を食べる前に1題……。

こんな具合に続けていくと、「休憩する前にまず1題」というような切れ目のない状態に陥ることもしばしばありましたが、とにかくわずかな時間を惜しんで作り続けてきて、ようやくトンネルの出口が見えつつあるところまでこぎつけました。

「作成時間に200時間必要」と概算すると嫌になっていたでしょうが、1分2分の積み重ねが知らず知らずの間にふくれあがって形となっていたのです。是非皆さんにも経験してもらいたいと思います。

中学生には月曜日と水曜日の最終授業時間（午後7時20分～）、教室2階に自由に勉強できる場を設けています。質問にもできるだけ答えていきますので活用して下さい。また、現在授業が設定されていない火曜日・木曜日の遅い時間帯にも希望が多ければ練習時間を設けていきますので、希望があれば申し出て下さい。

能学の大成者、世阿弥は芸の道を「守破離」、すなわち、まずは教えをしっかりと守る「守」、教えに応用を加える「破」、独自の道を見つけ創造につなげていく「離」の、3つの期間に分けたそうです。

そろばん学習における中高校生期は個人差もありますが、「守」から、「破」「離」へと昇華していく段階でしょうか。目的とするものや目標レベルにはそれぞれ違いがありますが、あ

きらめず、ねたまず、気を抜かずに、それぞれの思いを結実させていって下さい。

教室移転について

ここ半年ほど、授業中に半ば冗談・半ば本気のように生徒たちに話してきましたが、教室の移転が今年の秋に実現します。

場所は現教室から直線距離で20分ほど東で、現在は更地になっています。

5月中旬に土地を契約しました。建物の設計・建築確認を経て、6月中には建築着工し、9月頃に移転したいと思っています。

平成11年9月に交野市藤が尾6丁目に星の郷教室は誕生しました。教室定員30名でしたが、ほどなくして生徒の時間変更に応じることができないようになり平成17年6月に現教室に移転しました。

1階定員は倍以上の68名となり、しばらくの間は時間変更も自由にできていましたが、数年後にはそれもままなくなり、それどころか当初は想定していなかった2階を使用する頻度が増えてきました。

週3回以上出席できる「無制限クラス」を選択する生徒の割合が7割を超えるようになって、教室は常に定員前後の生徒が練習している状態です。

練習時間と練習環境を確保するためには移転が必要になってきたのですが、なかなか移転候補地が見つからずに時間が経過。昨年末になって絶好の場所に候補地が急浮上してきたこのたび契約となりました。

新教室は、中央部に吹き抜けを作り、通常の2階部分を「2階席」のように配置する予定です。ふだんは1階部分のみで対応し、検定試験や大会などの行事では2階席も使用することになるでしょう。

新教室が完成致しましたら、ご家庭の皆様方にも自由にご見学頂く時間を設けようと思います。

☆現教室でも授業の見学はいつでも可能です。事前の連絡やお申し込みは不要です。お子様達が練習に取り組む様

子を是非ご覧下さい。

出席時間20時間以上の生徒

(5月20日までの1ヶ月)

山口愛未40 金本大夢39 金本三夢39 桑原彩衣39 桑原唯衣36 金本愛夢36 山内星徳34 中村如月32 奥田あさひ31 盛井元仁30 山内優歩29 山根建太郎29 山内美空29 奥田南海28 楓まい28 西村早貴28 今井翔太26 神山周24 辻尾陸人24 永田綾稀24 桑原麻衣24 塚本旬24 古川愛佳23 湊結子23 文沢駿介22 齋藤小春22 松下菜々22 北森遥弥21 北森彩月21 西井颯一朗21 窪田一誠21 木寺輝21 楓陸21 塚本裕策21 森岡優海21 大内悠聖20 大内峻聖20 神山百合20 文沢一花20 東阪太陽20 井上寛大20

猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

松下明日香85 峯忠暉76 塚本旬64 岩瀬菜々香62 久保田絢香47 松田航45 田邊大翔42 森田航平40 井上寛大39 新町陽介39 高倉英己38 高山翔太33 高山琴音33 出合祐喜30 藤本直也29 出合拓翔29 辻尾陸人28 宇佐美碧海26 出野侑季26 仲井心琴26 藤原蓮26 深江菜月24 西井颯一朗23 小田一葉23 安見葉21 北森彩月20 入口寛都20

猛スピードばく進中(瞬達)

(初歩教材「瞬達」を1ヶ月で5ページ以上進んだ生徒)

中村如月20 永田綾稀19 神山百合14 東阪怜奈13 今井翔太12 山本莉奈11 明浦日香10 村垣夏南9 谷佑樹9 前田小春9 齋藤小春8 東阪太陽8 古川愛佳7 吉見優里7 吉永灯7 小西真雪6 田丸彩月6 野口拓海6 松下菜々6 森遥香6 石橋広太郎5 三田村航季5 村上小夏5

フラッシュ暗算合格者

(5月20日までの1ヶ月間)

八段	岩成海
七段	黒田幸花
六段	盛井元仁
五段	山名翔太郎
四段	山名翔太郎 黒田佳花
三段	山名翔太郎 奥田あさひ
二段	岡田遥 吉永灯

1級	井手勇希	金子千紘	楠田知己	楓陸
4級	中川優花	前田謙吾	眞井夏希	
	松下周子			
5級	植田成海	伊賀敬弘	木寺匠	
	今井翔太	谷侑樹	前田小春	
6級	今井翔太	前田小春	田丸彩月	
	中村如月	山本莉奈		
7級	田丸彩月	中村如月	永田綾稀	
	石橋広太郎	井上寛大	本間響	
8級	田丸彩月	永田綾稀	本間響	上山敬大
	金井叶斗	神山百合	中野明	
9級	永田綾稀	金井叶斗	神山百合	
	小西美琴	吉見駿冴		
10級	金井叶斗	神山百合	小西美琴	
	吉見駿冴	実生碧		

☆ 昨年震災直後から教室に募金箱を設置し、集まった募金で大縄を100本購入して、被災地の学校や避難所、仮設住宅に贈ったことを以前塾報で紹介したことがあります。その後、大縄寄贈に対するお礼の言葉を宮城県東松島市立大曲小学校の校長先生からいただきましたので、その文面も校長先生のご了解を得て塾報に転載させて頂きました。

5月13日、全国珠算教育連盟宮城県支部主催の講習会にお招き頂きました。この機会を利用して、震災から1年あまり経った大曲小学校や東松島市の様子を見学し、生徒の皆さんにお知らせできればと思い、わずかな時間でしたが訪問してきました。

仙台市内から車で1時間弱。道中、震災の跡はほとんど見受けられません。東松島市に入ってもしばらくはどこにも変わった様子はなく、小学校着。日曜日の校庭では、少年サッカーチームが練習をしていました。校舎の外観にも変化がないように見えました。昨年いただいたお写真では、校庭にひっくり返った車があったのですがそんな惨状がまったく想像できないほどの落ち着いたたたずまいでした。

ところが校舎の1階部分を窓越しにのぞいてみると、床は泥だらけで壁ははがれ落ちたまま。大工さんが使う道具がそこかしこにありましたから、まさに復興途中。校庭のフェンスも車が何台も激突したような曲がり方をしたものが手つかずで残っていました。

海側に足を向けると、海岸からずいぶん離れた田んぼの真ん中に漁船が打ち上げられていたり、1階部分が骨組みだけになった家が数百軒に1軒ずつ残っていたり、がれきがうずたかく積まれていたりしていました。学校が最終の防波堤のような役割をしていたのかもしれない。

日曜日でしたから皆さんが贈った大縄を実際に使っているところは見学できませんでしたが、きっと休み時間には校庭のそこかしこでみんなが力を合わせて跳んでいるのだろうと想像しながら東松島市を後にしました。

行きの飛行機は日本列島を北上し、福島上空を横切って太平洋に出、大きく左旋回をしながら仙台空港に到着しました。窓からは海岸沿いに大きな人工物がいくつも見えましたが、遠くに福島原発も視野に入っていたかもしれません。機内のモニターには福島県南相馬市の南部を東に向かって飛行機が飛んでいる地図が出ていましたから、あまり正確ではないにせよ、原発の近くを飛んでいきました。

ここ数日、『福島原発の真実 最高幹部の独白』（今西憲之・週刊朝日取材班著、朝日新聞出版）という本を読んでいます。地震直後から福島原発内にいた東京電力の幹部が書き残したメモを中心に事故の概要と作業員達の対応が書かれた本ですが、政府の発表や東電の記者会見、マスコミの報道だけでは私たちが知らされていない現実があまりにも多いことに慄然とします。